



目次

令和4年第2回定例会	2
総務委員会審査	2
議案ピックアップ	4
審議結果一覧	6
一般質問	7
議会レポート	11
議会日誌	12
編集後記	12

川辺中学校 スポーツフェスティバル

第2回定例会

〔6月定例会〕会期日程 6月7日～6月16日



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を重点に 一般会計予算1億4千414万円ほか、 特別会計等を補正

令和4年第2回定例会が、6月7日から16日の会期で開催され、報告案件1件、承認案件6件、議案4件が審議され、いずれも可決されました。

議会最終日16日には、議案3件が追加上程され、原案のとおり可決されました。

総務委員会審査



6月定例会に上程された4件の議案は総務委員会に付託され、6月8日から2日間審査が行われました。

委員会に付託された議案について、各課から説明を受け、質疑応答・必要書類の提出を求め審査を進めました。

審査に当たっては、延べ53件余りの質疑応答が行われ、6月9日に討論・採決を行った結果、審査に付された全ての議案について、全会一致で可決すべきものと決定しました。

審査における主な質疑応答は次のとおりです。

A

一過性で人が集まることではなく、その方達がリピーターとなつて川辺町が有名になることが良いと思います。そのためには、事業者様にも頑張つていただきながら、そのようなことにつながるような計画をしていかなければならないと考えています。



遠見山登山

Q

現在、登山道に多くの方々が来ているが、その方達が、リピーターになって、川辺町で買い物をしてくれる仕組みを作る必要があると思うがそのような企画があるのか伺います。

A

有効期限は2年間です。

Q

新型コロナウイルス感染症対策として、抗原検査キットを追加購入されるようだが、有効期限はどのくらいあるのか伺います。

令和4年度川辺町一般会計
補正予算(第1号)について

Q 中川辺駅に設置する観光看板について具体的にはどのような内容のものになるのか伺います。

A 看板のスペースが限られているので、あまり広域的なものではなく、中川辺駅を中心に半径3キロ程度で、登山道、公共施設等を掲載するイメージにしています。



中川辺駅

Q 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の内訳で、原油価格・物価高騰対応分があります。どのよう区分けになるのか伺います。

A 原油価格・物価高騰対応分とは、生活支援や産業支援が目的となっています。今回の事業の中では、商品券の発行事業をこの交付金で対応しようと調整しています。

Q 交付金事業の中で「主食用米次期作支援補助金」がありますが、町内の休耕地が目立っていますので、農業振興の中で主食米以外の作物を推奨するような考えはあるのか伺います。

A そのような作物についてはすでに国の補助制度があり、対象の方には補助金をお支払いしています。今回の主食用米の補助は、最近価格が落ち込んでいることもあり、認定農業者の方達が就農をやめてしまつていないように町も後押ししたいと考えています。

Q 交付金事業の中でごみ袋の無料化は検討しなかったのか伺います。

A ごみに関しては、収集運搬、処理場の維持管理費等が、人口割と実績割で決まります。つまり、ごみの量が増えれば、町が負担する金額も増えます。ごみ袋の無料化によつて、ごみの量が増える可能性は高く、後々、町の負担する金額が増えます。また、町民の皆様にはごみの減量化に努めていただきたく、ごみ袋の無料配布は検討していません。

Q 山楠公園と大谷公園に道路を挟んだ駐車場があるが、横断歩道を設置する予定はないか伺います。

A 山楠公園の横断歩道については、道路が急こう配で、急カーブの状態となっており、公安委員会に何度か説明に行きましたが、「設置出来ない」と言われています。そのため、「歩行者に注意してください」という立て看板を設置し、ドライバーに対して注意喚起をしています。大谷公園についての、横断歩道の設置は、同じく公安委員会になりますので、今後、設置が可能であるかどうかを含めて検討していきたいと考えています。



山楠公園前の道路



大谷公園前の道路

令和4年度川辺町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

Q 総合相談事業と認知症総合支援事業について、どのような相談が多いのか伺います。

A 総合相談事業は高齢者や障がい者の相談を受け付けています。例えば、介護や身元保証の相談から、家庭訪問の要望、民生委員からの情報提供等、地域包括支援センターが受ける事業については全て行っています。認知症総合支援事業では、認知症の家族の支援、ケアマネジャーによる同行訪問、その他、高齢者虐待等の相談も併せて受け付けています。

議案ピックアップ

定例会で審議された案件の中から、条例案件4件、各会計補正予算、契約案件2件、をピックアップして詳しく説明します。



PICK UP 1 条例案件

川辺町税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、証明書の交付、所得割の課税標準、個人住民税に係る扶養親族申告、個人住民税の住宅借入金等特別税額控除、住宅等に対する固定資産税の減額等、町条例の一部を改正しました。

川辺町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法の改正により、基礎課税額の限度額65万円(改正前63万円)、後期高齢者支援等課税額の限度額を20万円(改正前19万円)に引き上げる等、町条例の一部を改正しました。

川辺町介護保険条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルス感染症の影響による第1号介護保険料の減免措置(国の財政支援)が延長されたため、町条例の一部を改正しました。

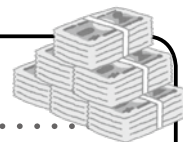
川辺町議会議員及び川辺町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、選挙運動に係る公費負担の限度額を変更するため、町条例の一部を改正しました。

PICK UP 2 各会計補正予算

一般会計では、追加の財政需要に対する専決予算の承認が行われました。

令和3年度一般会計補正予算(専決第4号)の内容



◆歳出

- ・花の都かわべづくり花壇用苗(▲357千円)
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金負担金(563千円)

◆歳入

- ・保育対策総合支援事業費補助金(国:206千円)

令和4年度一般会計補正予算(専決第1号)の内容



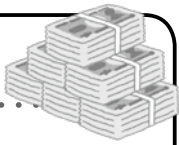
◆歳出

- ・住民税非課税世帯臨時特別給付金(7,000千円)
- ・子育て世帯生活支援特別給付金(5,000千円)
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業職員時間外勤務手当(3,195千円)
- ・新型コロナウイルスワクチン個別予防接種委託料(9,614千円)
- ・新型コロナウイルスワクチン時間外・休日個別接種協力助成金(1,940千円) など

◆歳入

- ・新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金(国:9,614千円)
- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金(国:6,801千円)
- ・子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金(国:8,533千円)
- ・子育て世帯生活支援特別給付金補助金(国:5,776千円)

令和4年度一般会計補正予算(第1号)の内容



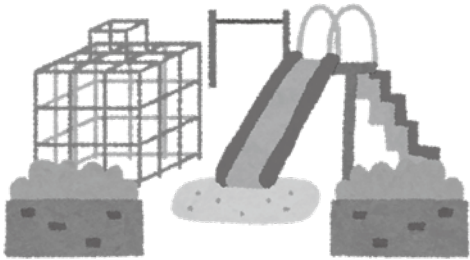
◆歳出

- ・議会ICT化事業タブレット端末購入費
(2,606千円)
- ・児童クラブ運営委託料(1,040千円)
- ・住宅用再生可能エネルギーシステム設置補助金
(2,100千円)
- ・地産地消直売所施設設備改修補助金
(9,940千円)
- ・主食用米次期作支援補助金(1,764千円)
- ・農産物販路拡大支援補助金(3,000千円)
- ・鳥獣被害防止総合対策事業補助金(2,486千円)
- ・トレッキング・ツーリズム連携業務委託料
(2,200千円)
- ・里山環境整備危険木伐採業務委託料
(1,970千円)
- ・新型コロナウイルス感染症対策商品券助成金
(101,000千円)
- ・公園施設整備工事(11,045千円)
- ・新型コロナウイルス抗原検査キット購入
(1,584千円)
- ・小中学校換気扇改修工事(6,238千円)
など



◆歳入

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生
臨時交付金(国:143,417千円)
- ・地域脱炭素移行・再エネ推進事業補助金
(県:4,100千円)
- ・財政調整基金繰入金(▲12,628千円)
- ・地域海洋センター修繕助成金(6,500千円)
など



その他特別会計補正状況

会 計 名		補 正 額
介護保険		7千円
水道事業	収益的支出	▲17千円
	資本的支出	128千円
下水道事業	令和3年度専決・ 収益的支出	3,800千円
	収益的支出	▲16千円
	資本的支出	▲643千円

PICK UP3 契約案件

川辺町庁舎非構造部材等耐震化及び 照明LED化工事請負契約の締結について

契 約 金 額	81,400,000円
工 期	令和4年12月12日
契約の相手方	佐伯総合建設 株式会社
契 約 内 容	庁舎の天井改修及び照明 LED化等

消防用小型動力可搬ポンプ積載車 購入契約の締結について

契 約 金 額	14,520,000円
納 入 期 限	令和5年3月20日
契約の相手方	株式会社 ウスイ消防
契 約 内 容	消防用小型動力可搬ポンプ 積載車購入

こんなことが決まりました。

令和4年度第2回定例会審議結果

件 名	採決状況 (賛成：反対)	結果
令和3年度川辺町一般会計繰越明許費繰越計算書	報告のみ	
専決処分について承認を求める件《川辺町税条例等の一部を改正する条例》	賛成7：反対0	承認
専決処分について承認を求める件 《川辺町国民健康保険税条例の一部を改正する条例》	賛成7：反対0	承認
専決処分について承認を求める件《川辺町介護保険条例の一部を改正する条例》	賛成7：反対0	承認
専決処分について承認を求める件 《令和3年度川辺町一般会計補正予算(専決第4号)》	賛成7：反対0	承認
専決処分について承認を求める件 《令和4年度川辺町一般会計補正予算(専決第1号)》	賛成7：反対0	承認
専決処分について承認を求める件 《令和3年度川辺町下水道事業会計補正予算(専決第1号)》	賛成7：反対0	承認
令和4年度川辺町一般会計補正予算(第1号)	賛成6：反対1	可決
令和4年度川辺町介護保険特別会計補正予算(第1号)	賛成7：反対0	可決
令和4年度川辺町水道事業会計補正予算(第1号)	賛成7：反対0	可決
令和4年度川辺町下水道事業会計補正予算(第1号)	賛成7：反対0	可決
川辺町庁舎非構造部材等耐震化及び照明LED化工事請負契約の締結について	賛成7：反対0	可決
消防用小型動力可搬ポンプ積載車購入契約の締結について	賛成7：反対0	可決
川辺町議会議員及び川辺町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	賛成7：反対0	可決



賛否が分かれた議案



○：賛成
×：反対

件 名	議 員 名								審議結果
	石原利春	佐伯雄幸	瀬尾俊春	市原敬夫	櫻井芳男	古川政久	平岡正男	井戸三兼	
令和4年度川辺町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	×	○	○	議長	可決

「令和4年度川辺町一般会計補正予算(第1号)」に対する討論の主な内容

×「反対討論」

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の目的に該当しない事業が一部あると判断します。

○「賛成討論」

・補正予算にある事業は活用する交付金の目的に該当していると判断します。



今聞きたこと
こんなこと

一般質問

「一般質問」とは？

皆さんの生活に関わる大切な内容について、町議会議員が町政に関わる全てのことを問いただし、執行部の公式見解を引き出すことができる機会であり、住民からの重大な関心と期待をもたれる議員活動の1つです。

質問事項一覧

6人の議員が質問しました。※質問順に掲載

質問番号	議員名	内 容
1	平岡 正男 議員	ひとり親家庭への支援策について
2	櫻井 芳男 議員	川辺町まちづくりについて
3	佐伯 雄幸 議員	長期化したコロナ禍における町の経済支援策について
4	古川 政久 議員	川辺町まち・ひと・しごと創生総合戦略について
5	石原 利春 議員	県道可児・金山線について
6		空き家解体後に係る固定資産税軽減について
7	市原 敬夫 議員	高齢者対策について

紙面の都合上、一般質問と答弁を要約してあります。全文は、町HPに議事録を掲載しておりますので再質問と併せてご覧ください。

<https://www.kawabe-gifu.jp/>



A

各課で、次のような支援策を実施しています。
(教育支援課)こども園、学校関

てお尋ねします。
策以外に、今後取り組んでいる施
ような支援策等があれば、併せ
てお尋ねします。
また、現在取り組んでいる施
策以外に、今後取り組んでいる施
ような支援策等があれば、併せ
てお尋ねします。

Q
日本は、相対的貧困率が先進
国の中でも高く、ひとり親家庭
に多いと言われております。
これら、相対的貧困※に對し
て、すべての子どもがそのよう
な状況ではないと思いますが、
絶対的貧困※があります。(※
の注記は11ページにあります。)
このような状況の中で、ひと
り親世帯への支援策は、教育、
福祉など他分野にわたる事や、
個々の家庭状況により、問題や
ニーズが違いため各担当課での
支援や相談内容を共有して対応
した体制作りが重要であると思
えております。

一般質問 1

町長

各担当課が連携して支援策を実施していきます

平岡正男 議員

子どもの貧困に対する支援策について

係、子育て世代包括支援センター
での、各種支援策等。
(生涯学習課)未来塾での、ひとり
親世帯の生徒等の、学習支援。
(企画課)「女性のつながりサポー
ト支援事業」のPR等実施。
(健康福祉課)生活困窮者への相談
事業や児童扶養手当の支給に係る
支援、ひとり親の様々な困り事な
どの相談対応等。
(住民課)家計支援として、福祉医
療費の助成等を実施。
(基盤整備課)町営住宅の入居者選
定の優先項目に「20歳未満の子を
扶養している寡婦若しくは寡夫」
を条件に規定。
(税務課)ひとり親の、所得税法上
の控除、地方税法上の控除等。
町社会福祉協議会関係でも、各
種支援実施しており、その他、民
間団体が主催ですが、「子ども食
堂」が定期的に実施されることに
なっております。
各担当課がそれぞれ連絡を密に
しながら、それぞれのケースにあ
った支援を適切に実施してまいり
たいと考えております。

2

一般質問

櫻井芳男
議員

川辺町独自の町づくりは

町長

様々な施策を着実に推進します

Q

今、川辺町は小学校統合、JR高山線中川駅西開発という二大計画があります。このプロジェクトを上手く利用して特色ある町づくりをするという様なお考えはありますか。

例えば、小学校統合をきっかけに、特色ある教育を行っている町、子どもたちの個性を伸ばせる教育の町等々、ぜひ川辺町で子育てをしたいと思われような町にする。そうすることで川辺町に住みたいという人が一人でもいれば定住人口が増えるかもしれません。

このような具体的な政策が町づくりに必要と考えます。人口減少、少子化等川辺町だけの問題ではありません。計画の例示だけでは問題解決には結びつかないでしょう。川辺町独自の町づくりのお考えをお尋ねします。

A 昨年の町長選挙の際、さとうみつひろ大作戦と銘打って5つの公約を掲げました。

①「コロナ撲滅大作戦」ワクチンの迅速・適切な接種の実行等。

②「3小学校統合大作戦」小学校統合計画の詳細に踏み込み、子育て・教育のために川辺町に移住したいという人が出てくるような、学校建設。

③「川辺防災・減災大作戦」頻発化・激甚化する豪雨・台風・地震など自然災害に備え、避難所整備、備蓄充実を図り災害に強いまちづくりの推進。

④「ストップ人口減少大作戦」空き家バンク、空き家改修補助金、定住促進助成金を交付し、移住定住人口増加に努める。中川辺駅西地区再開発についても、一歩踏み込んだ施策を実行する。

⑤「カモン川辺へ大作戦」遠見山・南天の滝・権現山へのトレッキング客の増加等交流、関係人口の増加をめざす。

これらは、町の活性化・人口減少対策・自然災害をはじめとする安全対策・教育計画などを具体的に宣言しており、これらの施策を毎年、着実に推し進めることによって理想に近づいていくと考えます。

3

一般質問

佐伯雄幸
議員

新型コロナウイルス感染症に対する支援策は

町長

提案については今後協議させていただきます

Q

川辺町の新型コロナウイルス感染症に対する施策について、次の3点についてお尋ねします。

①令和2年度に実施した、水道基本料金の免除を、今後再び実施のお考えはありますか。

②町指定のごみ袋の無償提供についてのお考えはありますか。

③学校給食費の一部援助などのお考えはありますか。

町もいろいろと模索しておりますと思いますが、今後、これ以外にも支援策等を検討されているのかお尋ねします。

A

新型コロナウイルス感染症をゼロに抑え込むことは容易ではありませんが、今後も引き続き、町民の皆さまへのきめ細かな情報提供に努めるとともに、重症化リスクの高い高齢者などに重点化しながら、県と連携して感染拡大防止に努めてまいります。

コロナ禍における経済的な損失、家計の疲弊は、日本全国に及び、さらにロシアのウクライ

ナ侵攻の影響で世界的な食糧不足、物価の高騰、加えて原油、半導体、エネルギー不足など、深刻な事態に直面しています。これに対し、川辺町では、今議会に提案した補正予算を含め、これまでに13弾を放ち、総額は約16億円にのぼり、このうち全国共通の施策で最も大きなものは、国民一人あたり10万円を給付する特別定額給付金でした。

その他、地方創生臨時交付金を活用して川辺町独自で実行したのも数多く、水道基本料金4か月無料をはじめ、おうちごはん券、かわべ応援商品券、児童生徒への図書券配布等を実施しました。

①水道基本料金免除、②ごみ袋無償提供、③学校給食費一部援助、については、いずれも検討する余地があると思います。

次回の地方創生臨時交付金活用の際、協議させていただきます。



A

①それぞれ事業担当課において
PDCAサイクルに基づく施

②計画を実施するにあたり地方
創生推進交付金制度はどのよ
うになっているか。
③新型コロナウイルス感染症に
よる計画推進への影響をどの
ように見ているか。
④SDGsを意識して目標設定を
設け、温室効果ガスを抑える
クリーンエネルギーいわゆる再
生可能エネルギーへの転換な
どの推進を掲げているか。
⑤人口減少により税収等財政規
模もおのずと減少することが
予想され、小中学校統廃合も
控えており行政経費の見直し
が必要と考える。こうした
現実に対してどのような問題
意識を持ち、今後町行財政運
営をどのような考え方で行っ
ていけるのか。

策の内部検証と評価を行い、そ
の後、審議会において、事業に
対するご意見や、事業の仕分け
を行い、第2期総合戦略を策定
するに至りました。
②現在のところ国の支援を受けて
実施している事業はありません
が、こうした財源も念頭に入れ
ながら人口減少対策と地域活性
化を推進します。
③新型コロナウイルス感染症の拡
大は、今後の人口ビジョンを始
めとして総合戦略の推進にも大
きな影響があるものと考えてい
ます。
④総合戦略の中でSDGsとの関
連性を意識して取り組みます。
推進施策とし、第5次総合計画
の中で、再生可能エネルギーの
導入促進を掲げております。
⑤小規模自治体にとって大変厳し
い状況ですが、各種事業に無理
なく投入できる資金を活用し
て、堅実な財政運営をすること
を心がけていきます。

Q

「まち・ひと・しごと創生総
合戦略」について次の5点につ
いてお尋ねします。
①第2期計画を策定されるにあ
たって第1期の総括、評価、
検証をどのようにされたか。
②計画を実施するにあたり地方
創生推進交付金制度はどのよ
うになっているか。
③新型コロナウイルス感染症に
よる計画推進への影響をどの
ように見ているか。
④SDGsを意識して目標設定を
設け、温室効果ガスを抑える
クリーンエネルギーいわゆる再
生可能エネルギーへの転換な
どの推進を掲げているか。
⑤人口減少により税収等財政規
模もおのずと減少することが
予想され、小中学校統廃合も
控えており行政経費の見直し
が必要と考える。こうした
現実に対してどのような問題
意識を持ち、今後町行財政運
営をどのような考え方で行っ
ていけるのか。

一般質問 4

古川政久
議員

まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括、
評価等について

企画課長①④
町長⑤

①④内部検証や評価を実施し、様々な事項を考慮し策定します
⑤堅実な財政運営に心がけます

A

工事の進捗は、岐阜県が国
からの予算配分の状況によ
り、進められており、現在残
り約300mのところまで進
んでいます。
国道418号線の交差点の

この件においてどのように
お考えですか。また、すでに
県へどのような要請をしてい
るのかお尋ねします。
県の工事ではありませんが、
町として県への要請に力を入
れていたかどうか要望いたし
ます。

Q

県道可児・金山線工事の残
り未完成区間300mは、少
なくとも2年は工事が進んで
いないのが現状ですが、近く
にはこども園があり、小学生
の通学路となっています。通
学の時間帯に通勤車も多く通
るなど交通量も決して少なく
はなく、歩道のない迂回路で
は交通事故の可能性もありま
すので、早急な工事の完成が
重要と考えます。

一般質問 5

石原利春
議員

早急な工事完成のため、どのような要望をしているのか

基盤整備課長
早期完了に向けた継続的な要望を実施して
います

手前までを令和6年度に完成する
予定で、その後は、国道418号
線との接続に伴う工事が、当分の
間継続される予定との報告を受け
ています。
県に対する要請については、可
児金山線を含む各種主要地方道沿
線市町で構成する道路整備促進期
成同盟会において、関係市町が一
体となって要望活動を行うほか、
町単独では毎年、県議会議員、町
長、川辺町議会から議長、総務委
員長及び可茂土木事務所の所長と
担当課長が出席する行政懇談会を
開催し、早期完了に向けた予算確
保と安定的・継続的な事業促進を
要望しています。



県道可児・金山線

6

一般質問

石原利春
議員

固定資産税の軽減措置について今後の考えは

税務課長

現在、計画はありませんが、今後は動向を見ながら検討します

Q

使用不可能な物件、管理状況の悪い空き家は未だ多く存在しています。

住宅が建っている土地は、固定資産等の税金が安くなる「住宅用地」という減税措置が適用されており、建物を解体すると土地だけに課せられる固定資産税は高くなり、空き家は取り壊さないという話も耳にします。

防犯上や倒壊等の安全面、また町の景観を考えれば町や町民にとっても早急に取りかかる必要があると考えます。

空き家の解体に係る費用の助成金がありますが、より確実に空き家対策を解決するために町独自の対策として、期間を定めたうえで空き家解体後も固定資産税の軽減措置を適用できるようこの問題に取り組む必要があると考えます。

この件において、今後なにかお考えはあるかお尋ねします。

A

空き家となる原因として、一般的には相続での取得が半

数以上を占め、所有者が遠隔地に居住している等が挙げられます。

また、空き家のままにしておく理由は解体費用が高額なため、又は取り壊すとその土地に係る固定資産税が高くなる等が全国的な理由となっておりです。

固定資産税は土地、家屋及び償却資産といった固定資産の適正な時価を課税標準とするもので、町税の中でも最も基幹的な税目であります。

このことから、ご質問にありますが今後の考え・計画等はあるかという点につきましては、現在のところ計画等はございませんが、今後につきましては、国・県・近隣市町村の動向を見ながら、必要に応じ空き家等対策協議会及び関係各課と連携し検討してまいります。

引き続き家屋を所有されてみえる皆様に、解体支援補助金及び空き家バンクを有効活用していただき、空き家の適正な管理に努めていただきたいと考えております。

7

一般質問

市原敬夫
議員

具体的な高齢者対策について

健康福祉課長

高齢者の方の健康維持・増進のため各種施策・事業を推進します

Q

核家族化が進み、従来のような3世代、4世代が一緒に住む環境が変わってきています。

そこで、心配なことは、独居老人の場合、孤独死、貧困、空き家、安否確認などが考えられ、高齢者世帯においても、健康不安、買い物難民、老々介護などいろいろな問題の発生が考えられます。

対策の一つとして、親族の同居推奨や隣接居住など行政として支援することも必要と考えます。また、ＩＴを活用した安否確認や、訪問医療・介護、生活困窮者対策、日常生活維持のための移動手段の確保など住民に寄り添ったきめ細かい施策を地域住民も含め考える必要があると考えますが、具体的な高齢者対策についてお尋ねします。

A

現在、町が行っている高齢者対策とは、民生児童委員による見守りや福寿会による友愛

訪問、配食サービス、民間事業者の協力による見守りネットワーク等のほか、緊急通報システムを活用した安否確認、また、移動手段の確保として、高齢者の自動車運転免許返納後のタクシー利用料金助成事業等を実施しています。

高齢者対策に関する主な計画では、「高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」を推進するとともに、「高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定に向け、65歳以上の方を対象にしたアンケート調査を予定しています。

一方、高齢者の方の健康維持・増進について、本年度から「高齢者の保健事業と介護予防」を一体的に実施することとし、高齢者の方がいきいきと健康に暮らせるように、各種施策・事業を推進してまいりたいと考えております。



一般質問①(平岡正男議員)※注記(P7より)

●相対的貧困

国や地域の水準の中で比較して、大多数よりも貧しい状態で、所得でみると世帯所得が国の等価可処分所得の中央値の半分に満たない状態。

●絶対的貧困

国や地域の生活レベルとは無関係に、生きるうえで必要最低限の生活水準が満たされていない状態。

議会レポート

株式会社エス・ケイ・ワイを視察

川辺町議会では、6月10日(金)に町長とともに、川辺町比久見地内に完成した、株式会社エス・ケイ・ワイ川辺工場を視察しました。

町長より、代表取締役横井三二様へ土地の寄付に対する感謝状授与の後、小澤営業技術部長より会社概要等の説明を受け、工場内も案内していただきました。

自動車関連や日用品等のプラスチック製品の製造販売のほか、海外でも事業展開をされています。

株式会社エス・ケイ・ワイの皆様に、熱心にご説明をいただき、知見を深める視察となりました。



川辺工場前にて



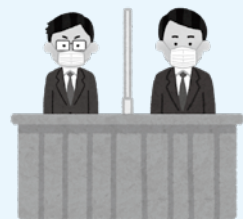
会社概要の説明の様子

引き続き

議場・委員会室で新型コロナウイルス感染症予防対策を実施

川辺町議会では、議会の開催に向けて、議場内等での新型コロナウイルス感染症予防のために対策を行っています。

検温・手指消毒やマスクの着用。飛沫防止のため、議場・委員会室にアクリル板を設置。会議中は、適宜休憩を取り議場の扉を開けて換気を行い、また議員席・傍聴席は隣り合う席を空けることで「密閉、密集、密接」の3密を防ぎ、新型コロナウイルス感染の拡大防止に努めています。



お知らせ

次回

第3回定例会の予定

- 9月6日 定例会(初日)
- 7日 総務委員会
- 8日 総務委員会
- 9日 総務委員会
- 12日 総務委員会
- 16日 定例会(最終日)
一般質問



※日程は都合により変更となることがあります。

CATV

議会を動画で見よう

一般質問の様子をCCネットで放映しています。放映予定日は、定例会最終日以降の土曜日と日曜日です。具体的な日程等は、ケーブルテレビの地域情報番組で案内されます。皆さん是非ご覧ください。

⑦ 議会を傍聴しよう

新型コロナ感染防止対策のため、本会議・委員会の傍聴の際はマスクの着用と手指の消毒をお願いしています。また、傍聴希望者が多数の場合は、入場制限をさせていただく場合がありますのでご了承ください。

議会日誌 令和4年5月～7月

5月

- 8日 川辺町青少年育成町民会議総会
- 18日 川辺町商工会通常総代会
- 20日 議会行政連絡会議
- 24日 可茂町村議会議長会第1回議長会
- 25日 第1回国民健康保険運営協議会
- 27日 議会運営委員会
- 30日 町村議会議長・副議長研修会
- 31日



6月

- 2日 県町村議会臨時総会及び第1回評議員会
- 5日 加茂郡体育大会
- 6日 川辺町社会福祉協議会第1回理事会
- 7日 定例会(初日)
- 8日 総務委員会
- 9日 総務委員会・議会行政連絡会議
- 10日 (株)エス・ケイ・ワイ視察
- 16日 定例会(最終日)
- 21日 可茂町村議会議長研修会
- 23日 介護保険事業計画策定委員会
- 30日 議会報編集委員会

7月

- 5日 東海環状自動車道中東濃地域建設促進協議会定期総会及び講演会
- 7日 国道418号整備促進期成同盟会定期総会
- 11日 議会報編集委員会
- 12日 第1回可茂地域一部事務組合議会臨時会
- 13日 可茂土木事務所行政懇談会
- 19日 中部国際医療センター視察
- 20日 四線促進期成同盟会総会
- 25日 リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会定期総会
- 26日 可茂町村議会議員研修会

編集後記

今年も早いもので6月、1年の後半へと入りました。コロナ禍での社会疲弊、それに伴う弱者救済等に対応する為「新型コロナウイルス」を中心に令和4年第2回定例会を開催いたしました。

さて、今議会は補正予算が中心となりましたが、一般質問では6名の議員が町長や担当課長に質問いたしました。

質問・答弁等はその要約を掲載しております。今後は町民の皆さんのご意見を議員一人ひとりがしっかりと受け止めてまいります。

最後になりましたが、編集委員一同、わかりやすい紙面づくりに今後も取り組んでまいります。



M・H

議会だより・議会全般に対するご意見や感想がございましたら、FAX、メールにてお寄せください。

FAX : 0574-53-2374

メールアドレス : gikai@kawabe-gifu.jp